


ふりがな 氏名	はやかわ ゆか <b>早川 有香</b>	都道府県	<b>神奈川県</b>	
所属/肩書	<ul style="list-style-type: none"> <li>東京工業大学大学院社会理工学研究科博士後期課程（日本学術振興会特別研究員）</li> <li>横浜市立大学／大正大学非常勤講師</li> </ul>			
私のESD活動	<b>教育的アプローチによる持続可能な発展推進に向けた仲間づくり</b>			

活動の概要（特に、取り組みの独創性、革新性、成果について説明してください）

### 1. 研究活動

「ESD の推進及び質の向上に寄与すること」を常に意識しながら、研究活動を行ってきました。たとえば、大学における ESD モデルプログラムの作成に携わった際、自身の研究で得た、「欧州の大学では大学教員と学生が学び合う形で ESD に関する授業を行っている」という調査結果に基づき、日本の大学にも導入可能な「教員と学生の学び合い」の方法を提案しました。また、学校のみならず地域など実社会のステークホルダーと密に連携しながら推進されることが求められる中で、ESD におけるステークホルダー連携の発展に寄与すべく、現在はマルチステークホルダーによる有機的な連携メカニズムに関する研究を行っています。

### 2. 教育活動

持続可能な発展(SD)とは、「豊かさとは何か」について、様々な人と議論しながら、学びあっていく学習のプロセスこそが ESD であり、それによってそれぞれが SD に関する価値観を形成し、行動していくことが、ESD の目指すものであると考えています。大学で担当している授業では、アクティブ・ラーニングを基調として、学生が主体的に学ぶことのできる授業づくりに努めています。授業効果と受講生の行動変容との関連性についても分析をしながら、SD のための行動変容につながる ESD のあり方を模索しています。また、ESD 実践の試みとして、2015 年に国連総会で採択された「持続可能な開発目標(SDGs)」を教材として活用しながら、一人一人がその実施主体であることを認識するとともに、その実現に向けてどんな貢献ができるのかという考えをもつあるいは行動を喚起するきっかけとして位置づけ、授業に取り入れています。

ESD活動をさらに深めるために、今後どのような活動を展開していこうと考えていますか？またESD全体(地域や日本国内、国際)の発展にどのように貢献したいと思いますか？

ESD に関する研究及び教育活動をする中で、「より効果的な ESD」を日々模索しています。社会的課題としっかりと向き合いながら、解決のための方策について考えることが、ESD の企図する人材育成なのではないかと思っています。また、ESD をより普及させていくためには、様々なステークホルダーとともに、持続可能な発展(SD)の実現に向けた教育的アプローチに価値を見出しながら、ESD を実施していく協働型 ESD を広めていくことが重要であると思っています。今後も研究・教育活動を通じて、SD についてともに考え、行動する仲間を増やしていくことで、ESD の社会的価値の向上に貢献していきたいと思っています。